

『あなたとつくる あしたのパッケージ』をテーマに サステナブルな製品でパッケージ業界の持続可能な発展に貢献

サカタインクス株式会社

サカタインクスグループでは、主要事業である印刷インキ・機能性材料事業の拡大とともに、地球環境改善を重視したサステナビリティな製品群の充実、そして近未来のパッケージ業界の発展と持続可能な社会の構築に貢献していきたいと考えており、今回の東京パック2024では、『あなたとつくる あしたのパッケージ』を出展テーマとしました。その実現に向けた取り組みとして、出品物を4つのコンセプトに分けて、各種環境配慮型製品および新規開発品のご紹介を通して、ご来場いただいた皆様とコラボレーションを行い、カーボンオフセットや持続可能な社会の実現を目指していきます。

植物由来材料の積極的な活用

Sustainable Materials



インキ固形分中に植物由来成分を10重量%以上含むインキとして、軟包装や紙器などの用途を対象とした当社オリジナルブランドである“ポタニカルインキ”シリーズをご紹介します。

フィルム用途として『ベルフローラ』・『サピリア』、紙用途では『エコプラータ』・『エコフィオーレ』、段ボール用インクジェットインキ『BSR-Bio』など、ここ数年多くのインキタイプを拡充してきました。ポタニカルインキを使用することで、カーボンオフセットの考え方によりCO2排出量削減に貢献し、さらには化石資源の節約にもつながります。

Recycling Initiatives



持続可能な循環型社会を構築するため、利益追求だけではなく、社会課題の解決にも積極的に取り組むことが各企業に求められています。

当社では、包材分野においては、リサイクルがしやすいモノマテリアル包材の検討がより一層進むと考え、モノマテリアルの促進に貢献する機能性コーティング剤『エコステージGB-XA』やフィルムからインキ脱墨を行う『脱墨プライマー』の開発品を紹介します。

配布サンプルあり

リサイクルに向けた取り組み

紙化に関するイノベーション

Paper Innovation



パッケージ業界においては、廃プラ問題をきっかけとした包材の環境対応が大きな課題となっており、軟包材の減プラ・脱プラとともに、紙化についても、さまざまな検討が官民連携して進められています。

紙包材の高機能化と高生産性を両立した新開発のヒートシール剤『FC-641V』と、美粧化と高付加価値を目的とした水性コーティング剤『ACコート』シリーズ、触感ニス、偏光光沢ニスをご紹介します。

配布サンプルあり

Next-Generation Printing Technology



今後の軟包装パッケージは、環境対応化や印刷数量の大小・多品種対応が更に求められ、アイテムにあわせて印刷方式を選択する時代が訪れようとしています。

今回、溶剤性グラビア印刷、水性フレキソ印刷、EBオフセット印刷、水性インクジェット印刷を用いて製袋物を作成いたしました。それぞれの印刷方式のメリットについて印刷サンプルをお取りいただき、実際にご確認ください。

次世代の印刷技術

(リンク先URL)

<https://www.inx.co.jp/exhibition/report/20241018100000.html>